

◎分野別計画に係る意見対応

資料 1

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
1	熊谷委員	全般	「施策目標」の結びの言葉が「推進します」、「活用します」、「目指します」のようになっています。これではスローガンのように聞こえてしまうと思います。その結果どのようになる(なりたい)のかが目標だと思います。	重点プランに反映(実現目標の明確化、成果指標の掲載)	H28.6.2総合計画審議会(意見書)
2	熊谷委員	5ページ 施策番号1-3-1-1	・「中井の環境を良くする会」を中心に → 通じ ・改善に努めます → 現状が悪いという印象になるので「維持向上に努めます」のようにしてほしい。	(修正案) 工場などからの排水や大気汚染物質、騒音などについて、「中井の環境を良くする会」を通じ事業者との連絡調整や指導を行いながら、維持向上に努めます。	H28.6.2総合計画審議会(意見書)
3	岸委員	全般	1. 基本施策で「～の推進」と記した場合、大施策及び小施策のタイトルの推進は削除しても良いのではないのでしょうか？  2. そもそも、例えば大施策で「～の推進」と記した場合、小施策の末尾の表現も「～を推進します」と結ぶべきかと考えます。結びを「～を促進します」と記載された箇所を多く見かけますが、広義には同じ意味かと思いますが、厳密には元来の意味と異なるように思います。  3. また、逆に基本施策で「～の推進」の推進を削除した場合、メリットとして、大施策及び小施策末尾の表現が自由になり、推進、促進、支援等、違和感なく何でも使えるのではと思います。そういう意味からすると、①より③の方が有効かもしれません。	全般的に大施策名を調整する(小施策名は極力そのまま)⇒資料2参照	H28.6.2総合計画審議会(意見書)

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
4	廣澤委員	1ページ 施策番号1-1-1-2	<p>本文中での「太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入を図る・・・」について</p> <p>○太陽光発電に関しては国の施策の方針も変化し、風雨力発電などにシフトしていく状況が見られます。中井町においても太陽光パネルの設置場所や取扱業者も頭打ちになってきそうな状況かと思われれます。</p> <p>山の稜線伝いに風車の設置は不可能でしょうか？あるいは森林整備も兼ねての森林資源(間伐材や雑木)、家畜の糞尿、稲ワラなどの農業廃棄物、生ごみ等々のバイオマスの活用。そして中井町の水資源の活用も兼ねて、風力やバイオマス発電により得られた電力を利用した水の電気分解。そのことから得られるクリーンエネルギーの代名詞的な存在となっている水素ガスの生産というように、先進性にあふれ、オリジナリティ豊かなクリーンテク中井町を目指すことは不可能でしょうか？</p> <p>バイオマスに関しては採算をとることは困難であるものの、以上のことは里山整備にも繋がり、ひいては鳥獣被害を減少させていくことにもなるとともにごみの不法投棄の防止にも繋がると考えます。</p> <p>※本施策について、重田龍雄委員より、文章前半・後半の順番を入れ替えた方が良いとのご意見があった。(内容的に前半の方が大きく、後半の方が小さいため)</p>	<p>施策内容の中では風力発電・バイオマスといった具体名は載せない。(「太陽光発電など」で読み込む)</p> <p>※(修正案) 町民、事業所への情報提供や啓発、各種支援により、自然エネルギーの普及促進を図るとともに、公共施設の新設・改築等に併せて、太陽光発電などの再生可能エネルギーの積極的な導入を図ります。</p>	H28.6.2総合計画審議会(意見書)
5	廣澤委員	5ページ 施策番号1-3-1-2	<p>本文中での「放射能、PM2.5などの新たな有害物質への対応・・・」について</p> <p>○放射能は物質ではないので、放射性物質もしくは放射線という用語が適切と思います。</p> <p>また、PM2.5も新たな物質というわけではないので、「新たな」という表現を「最近増加している・顕著な」といった表現に修正した方が適切と思います。</p>	<p>(修正案) ダイオキシン類をはじめ、環境ホルモンやアスベスト等の有害化学物質による被害の未然防止や、<b>近年顕著な放射線、PM2.5などへの対応</b>及び情報発信に努めます。</p>	H28.6.2総合計画審議会(意見書)

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
6	廣澤委員	15ページ 施策番号3-1-1-1	本文中2行目以降の「・・・中学校への学習支援者・介助員の配置、インクルーシブ教育の研究実践などにより児童・生徒一人ひとりの学力の向上と円滑な学校生活をサポートします。」について  ○「中学校への学習支援者・介助員の配置」が次の「インクルーシブ教育」にかかっている文言であれば、「・・・中学校への学習支援者・介助員の配置により、インクルーシブ教育の研究実践を推進することで生徒・児童一人ひとりの学力の向上と共生社会の形成に向けた学校教育をサポートします。」というような文章に訂正したらいかがかと思います。	文脈上、並列の関係にあるため修正しない。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
7	廣澤委員	18ページ 施策番号3-2-1-2	施策名「各種学級・講座の充実」の「各種学級」とは、児童・生徒対象の「土曜学級」のことでしょうか。	土曜学級の他、公民館などで実施されている教室・講座を含む。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
8	廣澤委員	24ページ 施策番号4-1-1-2	施策内容の本文訂正  場周辺は公共公益性の高い施設が立地しており、高い公共・業務機能を備えた地域です。これに加えて都市としての魅力と利便性を向上させ、より多くの人々が集まり、さまざまな交流が生まれるように多角的な方向から検討を加え、一層の活性化を図りながら拠点整備を推進していきます。	(修正案) 役場周辺は、公共公益性の高い施設が立地しており、これに都市としての魅力と利便性を向上させ、より多くの人々が集まり、交流することによる活性化を目指し、多角的な検討により拠点整備を推進します。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
9	早野委員	5ページ 施策番号1-3-1-1	「環境を良くする会」について、組織の位置づけについて検討し、上部の組織等を作った上で、取組を進めるべきと考える。	表現修正(熊谷委員提案と同様)	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
10	早野委員	25ページ 施策番号4-1-2	現況と課題の中の南部メガソーラーの事業終了後の都市的土地利用についての記述は、現時点で総合計画に掲載するには時期尚早ではないか。	町の方針として、本計画に留まらず、引き継ぐべき課題として内容は残す。(表現は修正) (修正案) また、南部地区についても長期的な視点で産業拠点の形成に向けた検討を進めていく必要があります。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
11	早野委員	45ページ 施策番号7-2-3-1	施策内容に上下水道料金の適正化についての記述があるが、これを出しする必要はないのではないか。	表現修正(「全ての公共料金等」)→庁内意見により反映済	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
12	咲間委員	15ページ 施策番号3-1-1-3	施策内容から、健康意識を向上させることを主として行う施策と認識できるためタイトルの「健やかな体」を「健やかな心身」に修正してはどうか。	ご意見を踏まえ施策名称を修正。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
13	咲間委員	18ページ 施策番号3-2-1	「自主活動」という言葉が、もっと生涯学習に結びつく言葉だとわかりやすいと感じたため、2行目「自主活動」を「主体的な学び」に修正してはどうか。 ※諸坂会長より「自主活動」という言葉の定義を確認の上、法律や関連計画での使われ方を確認するようことの指示あり。	基本計画の他箇所や、生涯学習基本計画においても自主的活動と表現しており、整合を図るため修正はしない。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
14	咲間委員	18ページ 施策番号3-2-1-1	「社会体育」とは、スポーツに分類されるのではないかと感じられる。そのため、1行目「社会体育」を文中から削除してはどうか。	ご意見を踏まえ表現を調整。→庁内意見により反映済	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
15	咲間委員	18ページ 施策番号3-2-1-1	・生涯学習施設の目的を明確にするため、2行目「自主活動の拠点」を「読書活動をはじめとした主体的な学びを支援する拠点」に変更してはどうか。 ・生涯学習施設の目的を明確にするため、2行目「町民が参加しやすい多様な学習機会」を「主体的な学びを支援する情報提供を図り、町民が参加しやすく、多様なニーズに応じた」に修正してはどうか。	(修正案) 地域における <b>読書活動などの</b> 生涯学習活動やスポーツ活動を促進するとともに、自主活動の拠点となる生涯学習の場の整備・充実を図ることで主体的な学びを支援し、町民が参加しやすく多様なニーズに応じた学習機会・学習環境の提供に努めます。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
16	咲間委員	28ページ 施策番号4-2-2-2	無償シェアリング交通の実現性が心配されるかつ、トラブル時のリスクが大いに予想されるため、国土交通省が定める「有償運送」とできないか。	また、隣接市町との連携・協力による広域的な公共交通対策に取り組むとともに、 <b>ニーズに応じた新たな生活交通サービスの可能性についても検討していきます。</b>	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
17	咲間委員	42ページ 施策番号7-1-3 (施策目標)	小施策7-1-3-3でも多文化共生を推進しているため、1行目「性別や年齢、障がいの有無」を「性別や年齢、出身、国籍、障がいの有無」に修正してはどうか。 ※諸坂会長より「宗教・宗派」も追加を検討との指示あり。	(修正案) 性別や年齢、障がいや疾病の有無、 <b>出身や国籍、宗教や宗派</b> などによって差別されることなく、町民一人ひとりが互いに尊重し合い、誰もが生き生きと暮らせる地域社会の実現に努めます。	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)
18	小宮委員	3ページ 施策番号1-2-1(施策目標)	従来、自然や生態系の維持がされていたのは積極的な活動とは言えず、残されたことは結果でしかない。しかし、ここまで残せた貴重な自然をこれからは能動的に残そうとする必要があり、これを目標として組み込んでいただきたい。 施策目標をもっと積極的な表現にしてはいかがかと思います。 例えば「後世に引き継ぐべき魅力ある自然を守る仕組みを構築する。」	(修正案) 緑を増やし、花と緑があふれるまちづくりを進めるとともに、後世に引き継ぐべき魅力ある里山環境を <b>守り、活用する仕組を構築します。</b>	H28.6.2総合計画 審議会(意見書)

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
19	小宮委員	32ページ 施策番号5-2-2	<p>中井町は他市町村から多数就労者を迎えています。これは本町の大きな特徴ですが、一方で就労者には中井町がほとんど認識されていないのも現実です。中井町の昼間の人口を意識した内容を付加できないでしょうか。</p> <p>現在は町内企業との交流は一般の町民にはイベント時の駐車場貸出くらいしか記憶にありません。企業対応だけでなく、就労者へのアピールを推進するべきと考えます。</p> <p>5-2交流を創りだすまちづくりに「中井町就労者への積極的なアピール」を付加していただきたい。</p>	<p>「なかい“まちづくり”カフェ」など、町民による自主的な話し合いや取組活動の経験共有の場や、「グリーンテクなかい」などで働く、多くの企業町民との交流機会の創出、地域でのお祭りなど地域住民や企業との連携・協働により、地域の活力を生み出す交流の場づくりを促進します。</p>	H28.6.2総合計画審議会(意見書)
20	早野委員	5ページ 施策番号1-3-1	<p>現況と課題において、「環境基本条例」という記載があるが、今回の計画の中には個別条例の名称は入れないのではなかったか？</p>	<p>施策体系の見直しの中で、施策名称としては自治基本条例以外は掲載していない。本文中の制限は特に設けていない。</p>	H28.6.2総合計画審議会(発言)
21	早野委員	11ページ 施策番号2-2-2	<p>現況と課題において「小児医療費の充実」という表現があるが、これからさらに助成対象を充実させていくという印象を受けるのではないか。</p>	<p>文脈上、現況として本町独自の手厚い支援を行っていることを表現している。</p>	H28.6.2総合計画審議会(発言)
22	早野委員	45ページ 施策番号7-2-3-3	<p>公会計制度や下水道事業の法適用化の記載があるが、国の方針に基づきやるべきことなので、敢えて具体的な内容を記載しなくても良いのではないか。目的は財政の健全化であるので、その程度の表現に留めたらどうか。下水道事業会計については法適用化することで繰出金などに制約が出るのではないか。</p>	<p>国から示された方針に基づき行うものだが、会計制度の見直し、合理的な財政運営の施策内容として大きな動きでもあるため、記載内容は残したい。</p>	H28.6.2総合計画審議会(発言)
23	咲間委員	31ページ 施策番号5-1-2	<p>・【現況と課題】の項、1～2行目 グリーンテクなかいに務める在勤町民も大切な町民の一人であるという観点から、「立地しており、このような～」の部分を「立地しており、在勤している町民によって昼間人口は大きく増加している。このような特色～」という文言を加えた形に修正してはどうか。</p> <p>・また、上述の内容をより解りやすく補記するものとして、町の昼間人口と夜間人口の対比したグラフの挿入を提案する。</p>	<p>・ご意見を踏まえ表現を修正 町内で働く在勤町民によって昼間人口は夜間人口を大きく上回っています。このような特徴を維持しながら企業の流出を防ぐとともに、地元中小企業の活性化についても対策が求められています。</p> <p>・グラフの挿入については別途検討</p>	H28.6.2総合計画審議会後(意見書)

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
24	議会	重点プラン 1ページ	<p>・重点プランには地方版総合戦略とのかかわりも深い表現が用いられると考える。 重点プランの最初のページの図の「総合戦略」「←連携→」「重点プラン」の「←連携→」を「分野別施策」と結びつけてはどうか？ イメージ案重点プラン 分野別施策</p> <p style="text-align: center;">↑ 連携 ↓ 総合戦略</p> <p>・そして成果指標は総合戦略や分野別施策から出ていてもいいと思われるが、別に成果指標を加える場合は、その考え方は知りたい。</p>	<p>・意見を踏まえ重点プランのイメージ図を修正</p> <p>・総合計画独自の成果指標の設定については別途説明</p>	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
25	議会	2ページ 施策番号1-1-2	<p>・1-1-2においても施策展開されている地球温暖化に関する分析が冗長。</p> <p>・持続可能なライフスタイルの言及が見当たらない。1-1-2は「環境啓発の推進」程度でいいのではないか？</p> <p>・本当は1-1「持続可能なライフスタイルの推進」とし、その中に、 1-1-1「エネルギー対策の推進」 1-1-2「地球温暖化対策の推進」 という大施策を入れればいいのではないか？</p>	<p>・1-1-2の表現修正(現況と課題) (修正案) 大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済システムは、日常生活に物質的な豊かさや快適な暮らしをもたらしましたが、その一方で地球温暖化の進行を引き起こし、地球環境に深刻な負荷を与えています。 自然エネルギーを有効に活用することや、一人ひとりが環境に配慮した行動を実践して持続可能なライフスタイルの普及に取り組んでいく必要があります。 自然や環境に関する理解を深めるため、講座内容の充実や各種イベントなどを通じて町民・事業者への意識啓発、団体の活動支援を図っていくことが必要です。</p> <p>・1-1-2の施策名称修正 「地球にやさしいライフスタイルの普及」⇒「環境啓発の推進」</p> <p>・上記施策名称の修正により、体系の見直しは行わない。</p>	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
26	議会	4ページ 施策番号1-2-2-1	<p>・1-2-2-1について、「生物多様性保全(行動計画)計画」を策定とあるが、わたしは罰則付きの保全条例が必要ではと考えている。 また行動計画の入り方がわかりにくい。</p> <p>・「生物多様性保全計画・地域行動計画」等を策定、もしくは「生物多様性地域戦略」等を策定、と「等」も加えたらどうか？</p>	<p>・罰則規定の必要性については分野別計画では記載せず別途検討</p> <p>・「生物多様性保護・保全計画」と表現修正 「等」の定義を明確化する必要があるため、含まない。</p>	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
27	議会	6ページ 施策番号1-3-2	1-3-2「中井クリーンタウン運動」が特記されすぎの気がする。せめて「等」をいれてはどうか。本当は出だしの文章の言い回しをもう少し丁寧にしてほしい。 町内企業や地域住民との協働による環境保全活動が展開されていますが、依然として、山林や農地…	・1-3-2の表現修正(現況と課題) <b>町内企業や地域住民との協働による環境保全活動が展開されていますが、依然として山林や農地</b> などへの不法投棄が課題となっており、「なかいクリーンタウン運動」をはじめとした不法投棄のできない環境づくりが求められています。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
28	議会	6ページ 施策番号1-3-2-4	1-3-2-4清掃ボランティアや監視パトロールのおもな仕事は不法投棄物の回収ではないか？そのため、「不法投棄の未然防止に努めます」を「不法投棄の散乱防止や未然防止に努めます」	・意見を踏まえ表現修正 不法投棄の散乱防止や未然防止に努めます。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
29	議会	7ページ 施策番号1-4-1	1-4-1は全体的に施策の発展性がない。【現況と課題】にあるよう、あらゆる資源には「資源として活用できる仕組みづくり」が必要でありそこまで踏み込んだ文言にすべきでは。とくに1-4-1-3は現在やっていることのみにとどまっており、展開を示すべきでは？	1-4-1-1,2,3について意見を踏まえ表現を修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
30	議会	39ページ 施策番号7-1-1-3	「まちづくりパートナー制度」等を活用し←等を入れては？	・まちづくり活動支援補助金など、他制度によるまちづくり活動の促進も考えられるため「等」を追記する。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
31	議会	40ページ 施策番号7-1-1-4	町民の協働活動を推進するための←町民主体なので、「推進」は「促進」では？	意見を踏まえ「促進」に修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
32	議会	41ページ 施策番号7-1-2	「保育ニーズの多様化」の含意が不明で、その後の文章に子育て関係の文言もないので、「少子高齢化や生活様式の多様化などにより」程度でいいのでは？	意見を踏まえ「少子高齢化や生活様式の多様化」に修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
33	議会	42ページ 施策番号7-1-3	「人権教育の意義や重要性について正しい知識を身に付けて」とあるが、7-1-3-1にあるように「人権についての正しい理解と人権意識を深める」手段として人権教育があるので、「人権の意義や重要性について正しい知識を身に付け」でいいのでは？	意見を踏まえ「人権の意義や重要性について正しい知識を身に付け」に修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
34	議会	45ページ 施策番号7-2-3-1	自主財源への多様な取り組みを期待したい。「企業誘致や、ふるさと納税制度の活用等とあわせ」で等を加えては？	・意見を踏まえ表現を修正 町政を安定的に運営し、着実に政策を推進するため、町税などの継続的な収納対策、すべての公共料金等の定期的な見直しとともに、企業誘致やふるさと納税制度の活用とあわせ、 <b>シティプロモーションをはじめとした様々な施策を人口増加、産業振興、地域力の強化につなげることで財源の安定的な確保を図ります。</b>	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
35	議会	46ページ 施策番号7-3-1	「医療・観光・スポーツ・観光」は「医療・防災or消防・スポーツ・観光」の間違えか？あるいは2-1-2で医療、6-1-2で消防、1-4-1でゴミ処理の広域化は触れられているので、7-3-1-2にあるように「スポーツ・文化・観光」でいいのか？	・意見を踏まえ「医療・消防・スポーツ・観光」に表現を修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出

No.	提案者	意見箇所	意見内容	対応	備考
36	議会	47ページ 施策番号7-3-2-3	オープンデータなどの取組も期待したい。	・意見を踏まえ表現を修正 ・町が保有するデータの積極的なオープンデータ化により、効果的な活用を図ります。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
37	議会	3ページ 施策番号1-2-1	・「里山風景」と「地下水」は対句にならない。風景を削除し、「里山」と「地下水」で対比。 ・1-2-1-2「一体的な保全」が巖島のみを指すのか、藤沢川、中村川、巖島を合わせたものが不明確、後者の場合、「一体的な保全」という言葉のイメージがつかめない。	・意見を踏まえ「里山」に表現修正 ・巖島と周辺環境の一体的な整備を指す	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
38	議会	8ページ 施策番号2-1-1-2	2-1-1-2ネウボラ(という言葉を使わなくても)について言及すべきでは？	・2-2-2-3「切れ目のない子育て・子育て支援」で反映。重点プランにおいて「ネウボラ」という語を使用	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
39	議会	9ページ 施策番号2-1-2	【現況と課題】「安心して出産できる」が不要ではないか？	意見を踏まえ削除	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
40	議会	15ページ 施策番号3-1-1-1 3-1-1-3	・3-1-1-1小学校への学習支援者・介助員の配置はできているので書かないのか？インクルーシブ教育を行う準備があるのか？ ・3-1-1-3食育と健康教育だけでなく、体を動かすことそのものの取組が必要では？	・限定しているわけではないため、「中学校への」を削除。インクルーシブ教育は研究事業として実践 ・必要性は認識するが、例として食育・健康教育を上げているため、追記はしない。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
41	議会	20ページ 施策番号3-2-2-3	総合型「地域」スポーツクラブ	・総合型地域スポーツクラブに表現を統一	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
42	議会	22ページ 施策番号3-3-1-2	【現況と課題】小中学生に芸術や文化に接する機会を提供とあるが施策3-3-1-2の「小中学校の」芸術鑑賞会と加えてみては？	・敢えて対象を限定する必要はないと考えるため、修正はしない。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
43	議会	32ページ 施策番号5-2-1-3	5-2-1-3「マルシェ」をもっと汎用性のある言葉「生産者定期市」などにすべきでは。	・汎用性を持たせるため「マルシェなど」と表現を修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
44	議会	34ページ 施策番号5-3-1-2	Jターンも狙い目では。	施策名称を修正「U・I・Jターンに対する支援」	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
45	議会	36ページ 施策番号6-1-2-1	自主防災会でも防災リーダーは認知されにくい存在だ。防災リーダーも含む自主防災会の組織的な共助を促進するという意味で、地域ぐるみの防災訓練「、避難所訓練、防災マップづくりなど」の実施や～「防災リーダーも含み」対応力を備えた自主防災組織…	・地域における防災リーダーの認知度向上のための取組例として理解するが、表現は修正しない。	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出
46	議会	36ページ 施策番号6-1-2-2	災害弱者に加え、外国語を話す人や帰宅困難者にも言及すべきでは？	・意見を踏まえ施策名称を「災害弱者への支援」⇒「災害時の避難支援体制の整備」に修正	H28.6.10議会全員協議会後の意見提出